

しみん基金・K O B E

NEWS

Vol.34

2014年12月号



特定非営利活動法人しみん基金・K O B E

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア 2 F) TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

黒田裕子理事長を悼む

去る9月24日、当基金理事長黒田裕子が郷里の島根県出雲の病院で、93歳のお母様に見守られて73歳の生涯を閉じられました。1995年に発生した阪神・淡路大震災以来20年、文字通り「全身全霊」「不眠不休」で被災者に寄り添い続けてきた人である。

「ボランティア元年」と注目され市民社会の萌芽が見えた20年前、このボランティアの灯を消してはならないという強い信念のもと、1999年「市民が市民活動を支える基金」が必要ということから、K O B Eの市民に支えられて当基金が生まれた。黒田理事長自身が「阪神高齢者・障害者支援ネットワーク」の理事長をしながら、全国津々浦々を東奔西走して来られたが、自らの団体は当基金から支援を受けたことは一度もない。それでも同じセクターの市民活動のために資金を集めて廻られた。被災者や仲間からは「仮設のマリアさん」「仮設の天使」と慕われて来られたが、ボランティアの鏡と言つても過言ではないでしょう。

最後に夕日が見たいとおっしゃって息を引き取られた。きつとすばらしい終章を描きながら、旅立たれたことでしょう。お疲れ様でした。

しみん基金・こうべ理事長代行

村井 雅清

(被災地NGO協働センター)

代表

しみん基金・K O B E

目次

平成26年度助成事業公開審査会報告

平成25年度助成事業成果報告会報告

2014年1月～3月

開催イベントのお知らせ

ただ今進行中！事業のお知らせ

19年目のひとり言

2

3

4

5

6



平成26年度助成事業審査会報告

2014年10月29日(水)、神戸市生涯学習センター(コミスタ神戸)にてしみん基金ことうべ助成事業の公開審査会を開催いたしました。

応募総数は52件(一般枠46件(うち1件辞退)、特定枠6件)、9月の理事会において書類審査の結果、18の団体の方々にプレゼンテーションをおこなって頂くことになりました。そして、その各団体の活動場所を訪ねるヒアリング調査を経て公開審査会を行い、審査の結果、下記の9団体の事業に(一般枠…6団体百68万4千円、特定枠…3団体90万円)合計2百58万4千円を助成することが決まりました。

プレゼンが初めての団体もいくつかあり、審査員から「プレゼンは活動の説明ではなくてアピール。何をしたいのか、何にお金があるのかをはっきりと。」という注文もありましたが、多くの団体が一堂に会する場として、様々な出会いがあり、審査員長からは「このような場では化学変化がおこる。この場のつながりをいかしてほしい」とのコメントがありました。

13:00



審査会開始にあたり黒田理事長に黙とう。

15:00

限られた時間の中で、各団体のプレゼン、審査員との質疑応答。



16:20



各審査員が一般枠枚、特定枠枚のシールを持ち、公開で投票。

17:00

結果が出て、助成決定団体で最後に記念撮影。みなさんほっとした様子。



助成決定団体紹介

団体名/事業名	事業概要	団体名/事業名	事業概要
(特活)はちどり人権塾 「みんなで作る人権かるた」作成事業	「明るく楽しい人権学習」推進のため、かるたの句を募集した人権かるたを作成し、人権学習が、特別な難しいことではなく心や生き方が豊かになる素晴らしいものであることを市民目線で伝えていく。	東灘こどもカフェ 新しいふるさと(淡路島)との居場所交流事業	淡路島に東灘こどもカフェのランチを作り、地域の団体と交流を深め、エコツーリズムを実施し新しいふるさとづくりをめざす。また淡路の食材を委託販売し、「こもれど」の食事にも利用する。
神戸・子どもと教育ネットワーク 「いのちをつなぐイベント」in神戸～神戸大空襲を風化させないために	戦後69年の今「神戸大空襲」を経た経験を知ることで今を生きる自分たちの「命」の重みを自覚し、その大切さを次世代につなぐため、語り部さんの話を聞くなどのイベントを実施する。	(特活)元気ファーマいながわ 野菜づくり講座の開設	猪名川町の新興住宅街で、「生きがいつくり」と「耕作放棄地の減少」をめざし、農園運営を行い、農業経験の乏しい団塊世代の方々が、農業を行うために必要な知識を学ぶ講座を開講することで、耕作放棄地の活用増強を図る。
西区聴力言語障害者福祉協会 西区聴覚障害者災害対策委員会運営事業	聴覚障害者の実情を理解してもらい、災害時の情報伝達について聞こえない人がいることを常に意識して視覚的にわかる方法で災害情報を発信してもらえよう、学習会の開催、連絡体制の構築、災害退避マップやマニュアルの更新などを行う。	(特活)女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ ひとり親家庭小中学生への学習支援とボランティア養成事業	DV被害者の子ども達への学習支援を行う。また支援する側の大学生は、このような状況とは無縁の場合が多いため、貧困やDV虐待などについて学びの機会を作り、ボランティア養成を行う。
福島ハーメルン・プロジェクト ジョイントチーム 福島の子どもたちに夢と元気を!ワクワク淡路島発見キャンプ	子どもたちを放射能被曝から守るため、福島および県外避難者を淡路島に招待して、一時保養キャンプ、東神戸診療所での検査及び健康相談を行う。また淡路島で作った無農薬、有機野菜を福島に送ったり、各種イベントで周知活動を行う	トモニプロジェクト 神戸と東北を結ぶ・防災女性学習会	復興計画策定や復興の街づくりなどの意思決定の場に女性の参画が少なく、女性の声が十分に反映されていない現状があるため、防災女性学習会や、成果報告会、震災記録写真展を開催する。
神戸大学東北ボランティアバスプロジェクト 神戸大学東北ボランティアバスプロジェクト	被災地への継続した訪問を続けることで、コミュニティ構築を支援し、被災者の自立を促す。またこうした経験を通じて、助け合い社会を担う人材が育成される。		

平成25年度助成事業成果報告会報告

今年も2014年12月10日(水)14時より、コミスタ神戸で平成25年度事業成果報告会を実施しました。



今年度は平成25年度助成対象団体は、すべて参加され、1年間の成果を「ご報告いただき、審査員からコメントをいただきました。平成26年度助成対象団体も7団体が参加され、一般参加の方スタツフを含めて50名弱の方々に、その報告を共有しました。



報告に続き、平成26年度のしみん基金・こうべ特別賞並びに今年度に限り設けた黒田裕子特別賞の贈呈式を行いました。特別賞には公開投票で次点となった(特活)Onoel、黒田裕子特別賞には災害復興公営住宅のコミュニティ支援を続けている灘地域活動センターです。



1団体10分の報告でしたが、みなさん報告したいことがたくさんあり、時間オーバー気味で、予定していた交流会の時間が無くなって

しまいました、最後に森崎審査員長が全体講評で「この基金は助成金を渡しているが、お金だけでなく、思いを渡している。その思いが広がり、このような場につながっている。」とコメントをいただき、締めました。



助成団体事業概要



(特活)あっとオーティズム

自閉症に関心を示してくれる人は増えては来ているが、関心から正しい理解へと、もう一歩前に進んでもらうために、一般市民の方々に興味を持ってもらえる自閉症啓発のパンフレット等を作成し、配布していく。



(特活)Future Code

バングラデシュで中心的役割を担うバングラデシュ軍病院(CMH: Combined Military Hospital)で日本の看護教育を参考にした看護師教育を行い、バングラデシュ国内の看護師教育のモデルケースをつくる。



(特活)ウエルネスハート

障がい者がささいなことでも何度でも相談できる窓口となることで、障がい者の社会参加の創出につながる。また障がいのある方とない方の交流事業により、共存しあえる社会となっていくことにつながる。



みんなの家

部落差別や在日外国人差別が過去にあり、今も混在し同居する地域で、ひとり親世帯の助けが必要な家庭の子どもの見守りと食事サービスなどを通じ、あらゆる世代がもちつもたれつ助けあえる場の提供を行う。



日韓学生会議

学生の手による韓国の文化交流、及び対話を通じて相互理解を深めることによる「より良い日韓関係の構築と相互理解」を目的とし、ディスカッションだけでなく、観光や文化体験などを通して、自国を見つめなおす機会にもなる。



私の好きなこの街復興支援プロジェクト

仮設で里親との新しい暮らしにストレスを感じている子ども達を招待し、ステージに立つってもらうことで、新しい家族として生きていく自信と支えを与える。多くのメディアに取り上げられ、復興の希望の灯りとなっている。



公益財団法人神戸YWCA

こどもの健康が守られること、家族への声援となること、参加者が自分の場所での再出発の機会になることをめざし、保養プログラムを実施。保養プログラムが疲労困憊する家族を孤立させない、砦となることに社会的価値がある。



バレンタインチーム

神戸の震災経験から得たまちづくりを東北で伝え、自分たちで支えていける仕組みづくりを行う。コミュニティをめざしたグループ作りの基礎をつくることは、被災した場所だけでなく、他の地域社会においても相当の価値がある。

イベント予定 (2014年1月~3月)

こころウォーク

震災から20年の神戸を、あなたの足で歩いてみませんか？
あなたの心のこもった「あい」を少しこころべのボランティア活動に分けてください。
17回目となる恒例のあいウォークにご参加をお待ちしています。

- 主催…こころべあいウォーク2015実行委員会
(特活)神戸まちづくり研究所・神戸復興塾
まち・コミュニケーション、(特活)しみん基金・こころべ
- 協力…近畿労働金庫地域共生推進部
- 開催日…2015年1月11日(日) ※雨天決行
- 募 金…千円から (※お気持ち次第で結構です！)
- スタート…受付9時半から10時まで 随時出発
大國公園(JR鷹取駅南東徒歩5分)
- 主なコース…大國公園↓たかとり教会↓鉄人28号
↓大正筋商店街↓旧二葉小学校
↓六間道商店街↓丸五市場↓シューズプラザ↓
水笠通公園↓御蔵北公園↓みくら5
- ゴール…受付12時から13時半まで
みくら5(御蔵北公園北…高速長田駅南徒歩3分)

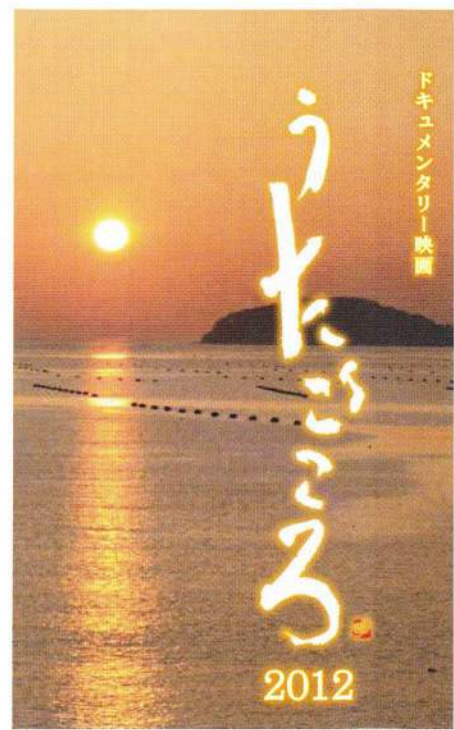


竹下景子詩の朗読とメモリアルコンサート

当基金にてチケット発売中!

3年ぶりの竹下景子さんの朗読です。ぜひお越しください。

- 日時…2015年1月18日(日) 14時開演(13時半開場)
- 会場…兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール
- 入場料…前売り2千5百円 当日3千円
- 出演…竹下景子、林晶彦、金関環、マリオネット、ZIPANGU
- 「絆」マンドリンオーケストラ、伝三F、オリンピック都・神戸北保育園
- 主催…復興支援コンサート実行委員会、ひょうご安全の日推進員
民会議
- 共催…兵庫県芸術文化協会
- 協賛…積水ハウス(株)、(株)フェリシモ、(有)ボック、
住友ゴム工業(株)
- 協力…毎日放送
- しみん基金・こころべでは、復興支援コンサート実行委員会構成団体として、**前売りチケットを販売しています。お申込みは当会ホームページをご覧ください。**



「うたごころ」《2012年版》上映会&榛葉健監督講演会

映画を観て復興地支援 震災の先にある希望を目指して

東日本大震災の発生から4年。阪神・淡路大震災から20年。かつて未曾有の災害を経験した神戸でも、2つの震災の風化は、日々進んでいるのではないのでしょうか？

私たちは、今なお困難を抱えながら生活されている方々に想いを馳せつつ、震災の先にある希望を目指してというメッセージを発信するとともに、主人公の女子高生の心模様を通じて、「いのち」の大切さを分かち合いたいと思います。多くの方々(特に主人公と同じ若い世代)に、是非観ていただきたいドキュメンタリー映画です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日時…2015年3月6日(金)
- ・昼の部 13時半から16時まで(12時45分開場)
- ・夜の部 19時から21時半まで(18時15分開場)
- 会場…東灘区民センター「うはらホール」
- ・アクセス JR神戸線住吉駅から徒歩2分(駅直結)
- 参加費…前売千8百円、当日2千3百円、
学生割引(対象…中・高・大学生)千5百円
- 主催…映画を観て東北支援うたごころ上映実行委員会(構成団体…生活協同組合コープこころべ、しみん基金・こころべ)
- 協力…近畿労働金庫地域共生推進部
- 後援…兵庫県生活協同組合連合会、神戸市教育委員会
- ★収益は、コープこころべとしみん基金・こころべで折半し、それぞれ被災地支援のために活用します。

**NPPOマネジメント講座
「中期計画をつくるって〜」**



今年度で2回目を迎えるこの講座が、いよいよ11月13日から始まりました。

このプログラムは、講座での学びを、その後アドバイザーが各団体を個別訪問することを通じて、各団体のメンバー間で共有し、さらに団体特有の事情に合わせたみんなで行う計画づくりを支援することで、組織のマネジメント力アップを図るハンズオン型のマネジメント支援を目指しています。

今年度は、兵庫県内の以下の4つの団体にご参加いただきました。

- ・(特活) 東灘地域助け合い ネットワーク
- ・(特活) 保育ネットワークミルク
- ・(特活) ふおーらいふ
- ・東灘こどもカフェ

このプログラムは、ひょうごボランティア基金の助成を受けて、以下のアドバイザーの

3名体制で実施しています。

- ・當間克雄氏
(兵庫県立大学経営学部・教授)
- ・河合将生氏
(office musubime・代表)
- ・江口聡
(特活)しみん基金・こうべ 事務局長)

古着チャリティ情報

いつもみなさまにご協力いただいている古着チャリティですが、今回新たに、

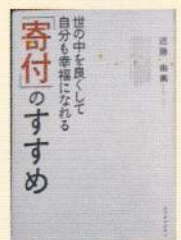
(有)長崎屋ホワイト急便神戸様のご協力により以下の回収場所が増えるました！

- ★ ホワイト急便荒田店
(湊川公園駅徒歩6分)
- ★ ホワイト急便阪神御影南店
(阪神御影駅徒歩2分)
- ★ ホワイト急便ラ・ムー神戸灘店
(阪神新在家駅徒歩11分)

クリーニングを出したついでに、古着は古着回収箱へ！
ご協力よろしくお願ひします。



**おすすめ
BOOK**



近藤由美著
『世の中を良くして自分も幸福になれる
「寄付」のすすめ』

「社会をより良いものにし、自分も幸せになれる」少し夢のような話に聞こえますが、私たちは主体的に寄付をすることでそれを実現できるかもしれません。

本書は寄付の歴史から制度や仕組みまで、寄付に関する様々な情報を通じて、寄付の魅力を紹介しています。

その中でも第2章では、実際に寄付をしている方々の例が紹介されています。そこには、著者自身の寄付初心者としての挑戦も紹介されており、自身の寄付体験によつて生じた心の変化が語られています。

また、第2章で紹介されていた人々には、無理なく自分に合った寄付を行い、さらに寄付を通して自分自身も楽しみを得ているという共通点がありました。私は今まで、寄付というとお金に余裕がある人が行うことで、自分からは遠い存在であると感じていました。しかし、本書を読むことで寄付には様々なカタチがあり、お金や時間の有無に関わらず、それぞれが自分に合った寄付を行っていくことで、自分の心も満たされるということを知りました。

本書は「寄付をすることで自分も幸せになれる」という考えをはじめ、私たちの寄付に対するイメージに様々な影響を与えてくれると思います。寄付に興味がある人もない人も、いろんな人々に読んでいただきたいおすすめの一冊です。

19年目のひとり言
 ～時代が変わろうとも～

以前、このコラムでフランス・プロバンスに暮らした作家、ジャン・ジオノの小説「木を植えた男」をご紹介したのだが、その冒頭の一節を改めてご紹介したい。「あまねく人々を思いやるすぐれた人格者の精神は、長い年月をかけてその行いを見定めて初めて、偉大さのほどを明かされるもの。」

名譽も報酬も求めない広く大きな心に支えられたその行いは、見るも確かなしるしを地上に刻んで始めて、気高い人格のしるしをも、しかと人々の眼に刻むもの」

当基金の理事長でもあった故黒田裕子さんは、阪神・淡路大震災以降、ひたすら市民活動という木を植え続けて来られた。

やがて植えられた木々が林となり、森となることを願いながら、私たちは見届けなければならぬ。木々が黒田さんの望んだ森へと成長していく様を。

そして、植え続けなければならぬ。私利私欲の無い木を。来年1月17日、あの震災から20年を迎える。ひとつの時代が終わりを告げ、新しい時代が始まるうとして。だが、たとえ時代が変わろうとも変えてはいけないものがある。

それを黒田さんは自らの行動で教えてくれた。願わくば、私たちを見守って頂きたい。合掌。

しみん基金・こうべ
 専務理事
 瀬戸口 仁三郎

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集します。

個人会員 年間3千円
 団体会員 年間1万円

お申し込みは電話・ファクス・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

★振込口座

三井住友銀行三宮支店
 普通 7965892

みなど銀行本店営業部
 普通 1597921

近畿労働金庫神戸支店
 普通 4161854

郵便振替
 00990151157334

口座名義すべて「しみん基金・こうべ」

下記URLよりクレジット決済もご利用頂けるようになりましたのでご利用ください。
<http://mp.canpan.info/kinkobe/>
 当会ホームページからアクセスできます！

はあ〜とふるふぁんど支援金は2015年1月5日(月)から受付開始です！

会員数とご寄付のご報告

◆正会員 個人34名 団体4 団体
 ◆賛助会員 個人43名 団体11 団体
 (2014年11月末現在)

◆新規会員一覽 (敬称略)
 久二千春

◆寄付・募金合計金額
 百67万5千6百68円

◆寄付者・募金一覽(敬称略・順不同)
 中島 秀男、飛田 雄一、森本 樹、
 白水 士郎、羽下 大信、齋本 郁
 山田 剛司、西岡 潤二、江口 聰
 (一財)敬愛まちづくり財団、
 オレンジスリフティ、あじさい基金、
 吉芳・住吉店募金箱
 (2014年6月～11月)

※皆様方からの貴重なご厚志に
 深謝申し上げます。

2014年が終わろうとしていきます。そして来年は震災から20年の節目の年。20年の総括と次の10年を考える年になるのでしょうか。

今年一年有難うございました。おかげさまで、今年もなんとか継続して助成することができました。財政は相変わらず危機状況ではありますが、また来年も当基金にご支援をよろしく願います。

良いお年をお迎えください。(と)